

檜枝岐小中一貫教育 家庭科年間指導計画

◆ 特に小5～中1のつながりを意識し、小学校で中学校の内容に触れたり、小学校で中学校教諭による指導を行ったりする単元

	充実期 【基礎・基本を生かして論理的思考力、判断力、表現力を養う活用期】			発展期 【基礎・基本を応用して個性の伸張を図る発展期】	
	小学校第5学年	小学校第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年
4月	家庭科の学習を始めよう ・食育チェック ・環境チェック ◆1 見つけよう 家庭生活 ①わたしと家族を見つめよう ②できる仕事から始めよう	◆6 見直そう 食事と生活のリズム ①毎日の生活をふり返ろう ②朝食のとおり方を見直そう	食生活と栄養 ・家庭分野の学習を始めよう ・食事の役割を考えよう	◆2編1章 わたしたちの成長と家族・地域 ・幼児頃ってどんなだったろう	
5月			・栄養素の種類と働きを知ろう	・幼児の生活と遊びを知ろう	
6月		③健康的な生活を考えよう ◆7 工夫しよう さわやかな生活 ①夏の暮らしを見つめよう ②衣服の着方と手入れを工夫しよう	◆1編2章 献立作りと食品の選択 ・食品に含まれる栄養素を知ろう ・何をどのくらい食べればよいか考えよう	・幼児の生活と遊びを知ろう	
7月	③地域の人とのかかわりを考えよう ◆2 ぬって作ろう 楽しい生活 ①身の回りの布製品を見つめよう ②ミシンを使って楽しく作ろう		・バランスのとれた食生活を考えよう	・幼児の心身の発達や特徴を知ろう ・「赤ちゃんふれあい体験学習」	
8月 9月		③快適な夏の暮らしを実践しよう ◆9 まかせてね 今日の食事 ①1食分の献立を工夫しよう ②家族が喜ぶ食事を作ろう	・食品の選び方を考えよう	・子どもにとっての家族について考えよう ・中学生にとっても家族を考えよう	
10月	③作った作品を楽しく使おう ◆3 おいしいね 毎日の食事 ①毎日の食事を見つめよう	③食事をもっと楽しくしよう ※ミシンを使っの製作については、定着を図るために5・6年の配当時期をずらし、十分にミシンに触れることができるようにした。	◆1編3章 調理と食文化 ・日常食の調理をしよう	・家庭と地域との関係を考えよう	
11月	②ご飯とみそ汁を作ろう ③食べることの大切さを考えよう	◆8 思いを形に 生活に役立つ物 ①生活に役立つ物を作ろう ②思いを形にしよう	・地域の食文化を知ろう <郷土料理作り>	・わたしたちの食生活の課題と実践 <郷土料理作り>	◆1編3章 わたしたちのより豊かな食生活 ・地域の食材を使って調理しよう ・楽しい食生活をしよう <郷土料理作り>
12月	◆4 物を生かして 住みやすく ①身の回りの物を見つめよう ②身の回りを使いやすくしよう		◆2編1章 衣生活と自立 ・着る目的を考えよう ・衣服の計画的な活用方法が考えよう	◆2編3章 わたしたちの消費と環境 ・消費生活について考えよう ・消費者としての自覚をもとう	・わたしたちの衣生活の課題
1月	③物を生かす生活をしよう ◆5 考えよう 買い物と暮らし ①お金の使い方、物の選び方を見つめよう	③作った物を使って確かめよう ◆10 工夫しよう 暖かな生活 ①冬の暮らしを見つめよう	・必要な衣服を選択しよう ・衣服の手入れをしよう ・よりよい衣生活を目標にして	・生活の中で環境への影響を考えよう ◆1編6章 わたしたちの生活と住まい ・住まいの働きとはなんだろう	◆1編5章 わたしたちの衣服製作 ・衣服の構成をしろう ・製作の計画を立てよう
2月	②計画的に買い物しよう	②暖かさや明るさを工夫しよう ③快適な冬の暮らしを実践しよう	◆4編1章 わたしたちの消費生活 ・消費者としての自覚を持とう ・商品の選択と購入について考えよう	・家族と住まいの関わりを考えよう ・健康で心地よく住むために	・つくってみよう <ハーフパンツ製作>
3月	②買い方をふり返ろう ・5年生の学習をふり返って	これからの生活に向けて ・伝えよう わたしの気持ち ・5、6年生の学習をふり返って ・中学校に向けて	・消費者の権利と責任を知ろう ・消費者トラブルを解決する方法を知ろう ・よりよい消費生活を目標にして	・安全に住むにはどうしたらよだろう ・よりよい住まいと住み方を考えよう	・各自で実践したことをまとめ、発表し合う。
総時数	60時間	55時間	35時間	35時間	17.5時間